

MCPCCモバイルシステム技術検定の受検者数が2万人を突破

MCPCC(モバイルコンピューティング推進コンソーシアム 会長 安田靖彦)は、モバイルコンピューティングの技術者育成とその普及を目的として、2005年から MCPCC モバイルシステム技術検定を実施して参りました。このたび、通算の受検者数が2万人を突破しましたので、お知らせいたします。

MCPCC では、これを一つのステップとして、技術者のモバイルコンピューティングに関する知識レベルの向上を図り、モバイルコンピューティングの更なる普及に向けた活動を推進して参ります。

1. MCPCC モバイルシステム技術検定について

モバイルシステム技術検定は、IT/ネットワーク (ICT) エンジニア、IT 営業、セールスエンジニア、コンサルタント、企業内技術者のために設けられた制度です。その知識レベルにより、最上位資格の SMC(シニアモバイルシステムコンサルタント)、1級、2級、そしてモバイル技術基礎検定の4段階で構成されております。試験は年2回実施されます。

2級では、モバイルシステムを構成する移動体通信、モバイル端末、ミドルウェア、システムソフトウェア、アプリケーションなどに関する基本知識を問います。

1級は2級合格者のみ受検できる資格で、2級の知識に加えて、高度なネットワークサービス、セキュリティ、各業種への具体的対応、システム構築技法、運用などに関する知識を問います。ネットワーク、端末・アプリケーション、モバイルシステムの3科目の合格を要する難関資格です。

また SMC は1級資格取得後、1年間以上のモバイルシステム構築、運用経験を有する方を対象とする、業界最高峰の資格です。またモバイルシステム技術検定とは別に、総務省が後援する携帯電話販売員のための資格としてケータイ実務検定も実施しております。

なお、2級、1級のそれぞれに対応した「モバイルシステム技術テキスト」(2級対応、およびエキスパート編)を、MCPCC 監修の下、刊行しております。サービス、技術の進歩をいち早く取り入れるべく、それぞれ2年毎に改版を行っており、このたび、2級対応の第3版が刊行されました。

2. 本技術検定の活用事例について

多くの移動体通信事業者やコンピュータメーカ及びソフトウェアベンダが、この検定制度を活用して IT 関連技術者の育成に取り組まれておられます。

(企業における活用事例)

- ・複数の大手通信事業者やシステムインテグレータにおいて、すべての新入社員に2級検定試験の受検を指示。

- ・多くの通信事業者、モバイル関連ベンダーにおいて、社員の最新技術レベルの修得を促進するため、受検料の全額負担、合格時の報奨金支給、人事記録への記載等を実施。

また大学や専門学校で、学生の技術教育の一環として、本技術検定を活用する動きもあります。

(大学・専門学校等における活用事例)

- ・玉川大学工学部 ソフトウェアサイエンス学科では、今年度より、3年から4年への進級に必要な資格の一つに MCPC 検定の基礎や2級を選定。
- ・日本電子専門学校(新宿)では、2010年にケータイアプリケーション科を新設し、モバイル技術の習得のため、MCPC 検定を選定するとして学生募集を開始。

今後も、MCPC では、モバイルエンジニアの人的リソースの拡大、スキル向上にむけた戦略的な取り組みとして、大学・専門学校での MCPC の技術検定教育の活用を働きかけて参ります。

【MCPCについて】

MCPC(モバイルコンピューティング推進コンソーシアム 会長:安田靖彦)は、業界を超えたモバイルコンピューティングの普及促進団体として1997年に発足いたしました。端末インターフェースガイドライン及びBluetooth など多数の標準化作業をはじめ、「セキュリティ対策ガイド」発行、「モバイルソリューションフェア」開催、「モバイルシステム技術検定」実施などを通して、モバイル市場の拡大に貢献しております。MCPC加盟企業 164社(2009年8月5日現在)

[本件に対する問合せ先]

モバイルコンピューティング推進コンソーシアム (MCPC) 事務局

所在地 : 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-12 長谷川グリーンビル2F

T E L : 03-5401-1935 FAX : 03-5401-1937

E-mail : office@mcpc-jp.org

<http://www.mcpc-jp.org/>